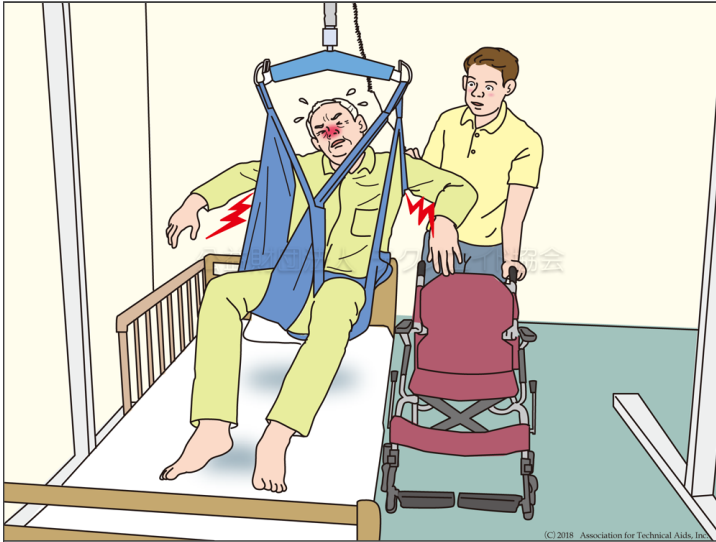


Case : 349

スリングシート使用時に、誤って両腕を外に出していたため、けがしそうになる

場面の説明

腕を外に出すトイレ用と、中に入れるハイバックのスリングシートを使い分けていたが、使用方法を混乱してしまった。



利用シーン	 移乗
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 移動用リフト（つり具の部分）
分類コード (CCTA95)	123621 (吊り上げ式リフト用吊具)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

生活場面によってスリングシートを使い分けることがありますが、介護者が不慣れな場合、装着方法を間違えるといった初歩的なミスが起こります。事前に使用方法の実技研修をしっかりと行う必要があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：介護者が不慣れで誤った使用方法をとってしまった
- 人：本人が間違いを訴えることができなかった
- モノ：スリングシートを2種類使っていた
- 環境：日常的にリフトを活用する施設だった
- 管理：研修体制に課題があった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 349

スリングシート使用時に、誤って両腕を外に出していたため、けがしそうになる

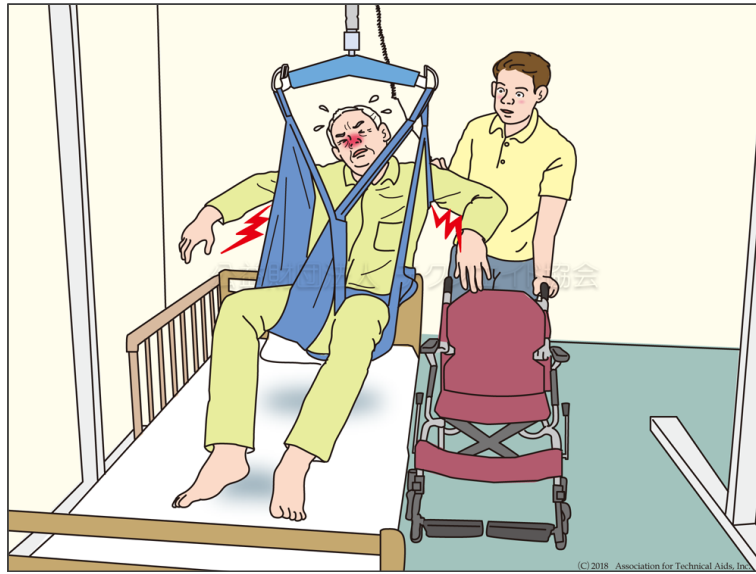
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

腕を外に出すトイレ用と、中に入れるハイバックのスリングシートを使い分けていたが、使用方法を混乱してしまっただ。



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ